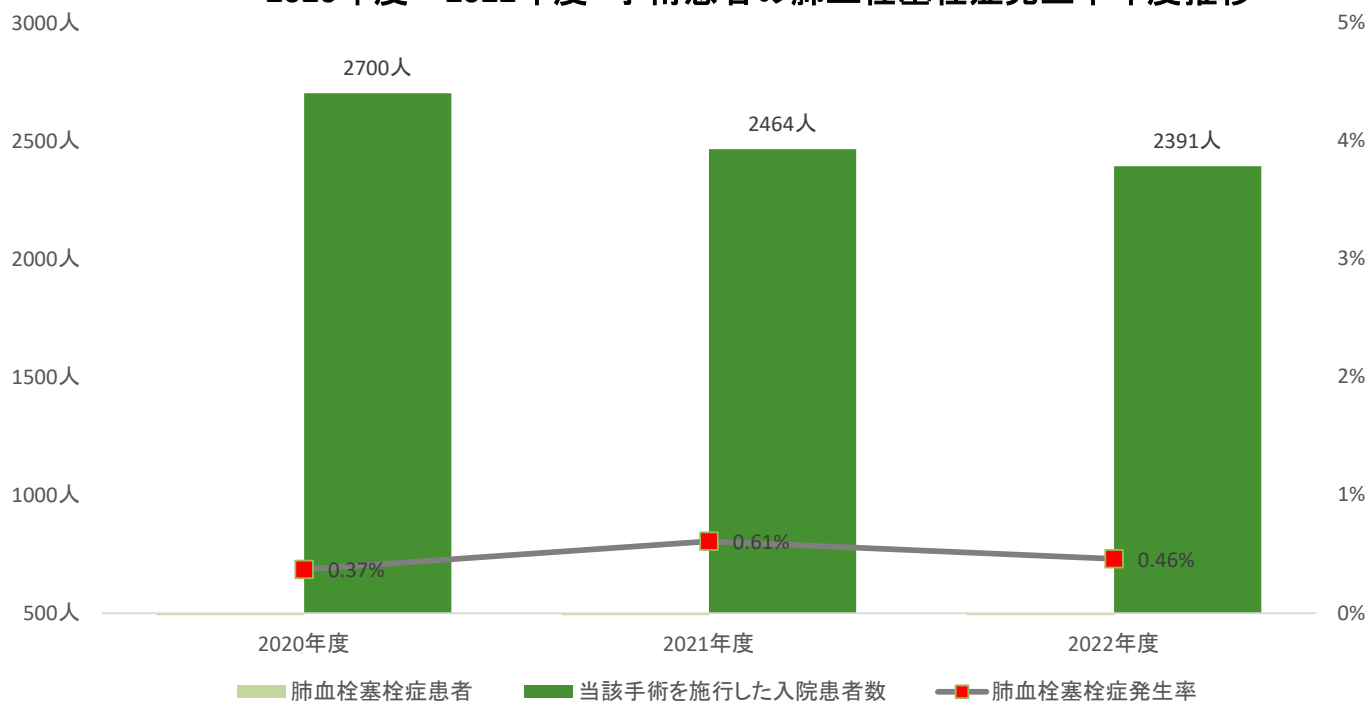


2020年度－2022年度 手術患者の肺血栓塞栓症発生率年度推移



※リスクレベルが「中」以上の手術は、「肺血栓塞栓症／深部静脈血栓症の診断、治療、予防に関するガイドライン」（日本循環器学会等）に準じて抽出

【指標の説明】

肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した入院患者さんのうち、術後に肺血栓塞栓症を発症した割合を算出しました。

ほとんどの患者さんに予防対策を講じていることもあり、肺血栓塞栓症の発症率は非常に低値となっています。

【計算方法】

分子：分母のうち肺血栓塞栓症を発症した患者数

分母：肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した入院患者数

分子／分母 × 100